

旅を諦めないで

旅先での長時間歩行やそれに起因する旅行断念を解消するため、上越妙高駅西口のフルサット（上越市大和5）は16日から、電動車いすメーカーのWHEEL（ウィル、東京都）と組んで旅行先などの近距離モビリティで活躍する電動車いすのレンタルサービスを開始した。

ウィル社によると、県内で同社製品のレンタルサービスを行うのは初めて。レンタル品は自動車に収納でき、宿泊を伴う外出でも効果を発揮するという。電動車いすは法令上、歩行者

電動車いすをレンタル 上越妙高駅西口のフルサット

東京のウィル社と連携



折り畳み式の電動車いす。レバーを操作するだけで動くため運転も早い

と見なされる。免許やヘルメットは不要だ。電動のため付添人

が押して歩く必要もない。操作は左側のレバーのみで完結するため、習熟も早いのが特徴だ。フルサットは体重や着席時に常時足置きに足が着く、などの条件を確認した上で、1泊500円（税込み）、1泊50800円（同）のプランで貸し出す。フルサットを運営する北信越地域資源研究所の平原正社

長は「足が弱くなると、宿泊先でも部屋から大浴場までの距離が遠く、温泉を楽しむことができない」という話を聞く。そうした課題も解消できるはず」と話す。

日本交通公社（東京都）が行うJTB旅行意識調査によると、60代の旅行阻害要因のうち、2014年から24年の10年間で

大きく増加した要因の一つが「介護しなければならぬ家族がいる」と。ウィル社法人モビリティソリューション事業本部の杉浦圭祐本部長は「足腰の弱い家族がいても、電動車いすがあれば家族旅行も可能になる。旅を楽しみたい人たちが諦めなくて済むよう、利用されたい」と話した。



折り畳み式で自動車のリアハッチから収納することが出来る

「もらえてありがたい」「め、7月末の終了を目」「仕事ができる」とに感「上手に泳げるようにな